

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	火災現場における放水活動時の転倒について
3. 体験した事例の中心的要素	最盛期の様相を呈していた火災現場へ最先着の消火隊として現場到着し、ホース延長後（65mm筒先1線2口）の放水活動時に隊長の筒先補助のなかった隊員が予想以上の放水圧力により転倒した。（負傷なし）
4. 体験した事例の原因・理由	隊員が65mm筒先放水時における筒先圧力を軽視していた。また、機関員においても「この放水圧であればいけるであろう。」という過信が転倒事故を招いた。

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。（大丈夫だろうと思った。）
------------------	------------------------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成28年8月25日 午後5時頃
2. 発生した当時の天候	曇り
3. 発生した活動現場	屋外：道路上
4. 体験した事例の種類	
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	転倒
7. 事例体験時の活動	火災現場活動初期、[その他建物]
8. （7の活動中）どのような作業中に発生したか	放水活動
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

[illegible][illegible][illegible]

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

b. 注意力が欠如していた

2

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	はい
・野次馬が多かった。	はい
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

出張所内において、どのような状況でも焦らず、慌てず、冷静沈着をもつとうに安全・確実な行動を行えるよう特に安全面への意識向上を徹底した。

○装備・資機材の対策について

特になし。

○活動環境の対策について

特になし。

○指揮・情報伝達の対策について

隊長は機関員・隊員への指示の際は、資機材面だけでなく精神面等（心構え）も指示し、意思疎通を図るようにする。

◆放水活動時転倒事案平面図

